

平成15年度未踏ソフトウェア創造事業「未踏ユース」

(多種環境間で協調するファイル同期ツールの開発)

— 様々な場所、様々な形で情報を共有したい —

村崎 大輔 (電気通信大学大学院 情報工学専攻)

- モバイル目的を考慮したファイル同期

「現在の環境」をネットワーク構成より識別し、どのような同期を行うか(同期相手といった設定)を自動的に切り替えます。

- ファイル内容の適切な変換

「画像ファイルの縮小版で同期する」といった指定が可能です。縮小していない元の情報が必要になった場合、ネットワーク経由での復元を試みます。

- 効率的な同期処理

すべてのファイルを常にチェックする必要はありません。更新が行われた時刻や更新のあったファイル情報を互いに管理しあうことで、効率的な同期を実現しています。

